

- 山形新聞・山形放送主催の「最上川200キロを歩く 小学校探検リレー2021」が5月8日(土)から全11週に渡り開催され、最終週の7月17日(土)に酒田市立亀ヶ崎小学校の3～6年生15名が酒田港を見学しました。
- このイベントは未来を担う子どもたちが、最上川200キロをリレー方式で歩きながら、郷土愛や環境保全の大切さを心と体で感じて、最上川への理解を深めてもらうものです。
- 当事務所では、参加者を2班に分け新型コロナウイルス感染症の対策を行った上で、酒田北港緑地展望台にて「海洋ごみによる影響」や「みなとの役割」について説明を行いました。
- 参加した児童の皆さんからは、コンテナで運ばれてくる貨物について質問したり、海ごみについて興味を持たれている様子でした。亀ヶ崎小学校の皆さん、大変お疲れ様でした！



当事務所の森田所長より挨拶(出発式にて)



海ごみについて説明を受けている様子



酒田北港緑地展望台から酒田港を見学